



## 行政視察等報告書

安来市議会議長 様

報告者 会派 燦友会  
議員 作野 幸憲

この度、行政並びに企業視察を行いましたので報告します。

### 記

期日 平成29年2月5日 ～ 平成29年2月8日

行先 神奈川県相模原市  
株式会社NTTドコモ本社（東京都千代田区）  
株式会社ジーワン（栃木県さくら市）  
地方議員セミナー（東京都渋谷区）

日程 別紙のとおり

参加者 上廻芳和、金山満輝、梅林守、遠藤孝、井上峯雄、  
田中武夫、作野幸憲

合計7人

視察内容 別紙のとおり

## 行政・企業視察等報告

(会派 燦友会)

### <視察目的>

#### ・神奈川県相模原市

現在安来市議会で検討中の議会基本条例。そのなかで現在導入を検討している通年議会を平成26年より行っておられる相模原市議会を調査・研究し、参考にするため。

#### ・株式会社 NTT ドコモ

ドローンの活用をはじめ、様々な先進的農業 ICT 技術の開発・推進をしておられる株式会社 NTT ドコモを訪問し、その現状を調査・研究し、今後の安来市農業に活かすため。

#### ・株式会社ジーワン

ウォーターセル株式会社が開発し、株式会社 NTT ドコモが推進し提供している農業支援システム「アグリノート」を使って農業を実践しておられる株式会社ジーワン さくら農場を訪問し、現場での使い勝手や課題を実際に確認し、安来市農業に導入可能かどうか調査するため。

#### ・地方議員セミナー「保育の拡充と地方議会の課題」

現在どの自治体でも、保育施策の拡充は住民の一大関心事のひとつ。待機児童解消や保育士の処遇改善、公立施設の認定こども園化などの諸課題を通じ、我々議会・議員ができることを考えるため。

### <視察概要一覧>

視察月日	視察・研修先	視察施設	視察内容
平成 29 年 2 月 6 日 (月)	神奈川県相模原市	相模原市役所	通年議会について
平成 29 年 2 月 6 日 (月)	株式会社 NTT ド コモ	千代田区永田町本社	農業 ICT の取り組みについて
平成 29 年 2 月 7 日 (火)	株式会社ジーワン	栃木県さくら市 実践農場	農業 ICT 実践農場の現地視察
平成 29 年 2 月 8 日 (水)	保育研究所主催 地方議員セミナー	渋谷区代々木 全理連ビル 9 階会議室	保育の拡充と地方議員の課題について

### <視察概要報告>

#### 1. 神奈川県相模原市

●対応者： 相模原市議会議員

岸浪 孝志様

相模原市議会	議会局 次長	小峰 幸夫様
〃	議会局副主幹	金井 憲一様
〃	議会局副主幹	竹下 徹郎様
〃	議会局政策調査課主任	三沢 幸子様

●場 所： 相模原市役所

●概 要：

#### 「通年議会について」

相模原市議会では、議会改革の一環として、平成26年より定例会の開催を年1回とし12月末までを会期とする一会期制を導入されました。1月に「開会会議」を開催し会期を決定し、2月、5月、8月、11月に「定例会議」として会議を再開するとともに、必要に応じて「臨時会議」を再開されています。会期をほぼ1年間とすることで、議会が常に活動できる状態として、災害時や緊急的な行政課題に対して迅速な議会对応が可能となり、主体的な議会活動を通して議会機能の強化及び活性化につながっているとのことでした。

開会会議は市長招集により開催されますが、以後の定例会議、臨時会議は休会後の再開となりますので議長の権限で再会されます。議会の主体性や迅速性がより一層進展したとのことでした。

#### 〈考察〉

- 現在安来市議会で導入を検討している通年議会。通年議会にすることによって、会期を1年間にすることによって、議会が常に活動できる状態になり、災害時や緊急時に迅速な議会对応ができることがよくわかりました。



○定例会議（年4回）や臨時会議を開催しないときでも、常任委員会で調査や審議を継続してできるため、議会機能の強化や活性化につながることもわかり、積極的に導入を考えるべきと思いました。

- 通年議会になっても現状とほとんど変わらないとのこと。相模原市議会では通年議会導入後も休会中の常任委員会の開催もそう多くはないということ。心配していた職員への負担増もそれほど大きいものにはならないと感じた。

## 2. 株式会社 NTT ドコモ

- 対応者： 株式会社 NTT ドコモ 第一法人営業部 担当部長 上原 宏様
- 〃 アグリカール 川野 千鶴子様
- 〃 アグリカール 宮本 文恵様

〃	システムエンジニア鈴木 寛昭様
株式会社 NTT ドコモ CS 中国島根支店	上土井 誠様
〃	アグリガール 中野 莉沙様
ウォーターセル株式会社	取締役 藤原 拓真様
〃	蛭子 拓夫様
同行者： JA しまね やすぎ地区本部	TAC 矢田 康二様

●場 所：株式会社 NTT ドコモ本社（東京都千代田区永田町）

●概 要：

「農業 ICT の取り組みについて」

株式会社 NTT ドコモでは、農業 ICT の取り組みの一環として現在進めておられる「ドコモ・ドローンプロジェクト」の農業関連の取り組みについて説明を受けました。この取り組みは、水稻の病害虫の発生状況の監視や収穫時期の管理などについてドローンを活用して検証をしておられ、自律飛行ドローンや GPS センシングなどに新しい技術についても説明していただきました。

その後場所をドコモソリューションルームに移り、現在全国各地で使われている様々な

農業 ICT について、動画や実物で説明を受けました。最初は親牛の体温を監視することで、分娩の細かい経過や発情の兆候を検知し、メールでお知らせするシステム「モバイル牛温恵」、次に圃場の水位・水温・温度・湿度を自動測定し、タブレットやスマートフォンを使って遠隔地から圃場状況を確認で



きるサービス「PaddyWatch」、そして最後にマップ・航空写真を利用したクラウド型農業支援システム「アグリノート」です。このシステムはネットさえ繋がっていれば、利用デバイスに関わりなく使うことができ、農作業を記録したり、生育記録、収穫記録を登録でき、これらのデータを自動集計できるなど今後の農業に大いに役立てることができる安価で簡単操作の優れたもののアプリでした。

〈考察〉

○最初に「ドコモ・ドローンプロジェクト」の農業関連の取り組みについて説明を受けましたが、ドローンの技術もここにきて飛躍的に伸びているとのこと。今後値段やバッテリーの性能が上がれば水稻の病害虫の発生状況の監視や収穫時期の管理など様々な場面で使えるようになると思いました。

○田んぼの見回りの代行ができる「PaddyWatch」も興味深く話が聞けました。夏場の田ん

ぼの見回りは毎日の作業で大変です。これをタブレットやスマートフォンを使って遠隔地から圃場状況を確認できれば、効率的な水田管理ができ、作業の効率化も進むと思います。まだ1基約10万円弱と高いですが、今後半額くらいになるということなので、できればモデル地区的な取り組みが安来のどこかの圃場でできると良いと思いました。

○私が一番興味があったのは、「アグリノート」というアプリ。長年の経験で積み上げたデータを蓄積することによって、新たな担い手育成のためのデータの継承ができ、将来を見据えた安来農業にとっても非常に役立つと思いました。また設定は少し大変かもしれませんが、操作は簡単そうで、アプリ自体の値段の月額500円ということなので、できれば早速使ってみたいと思いました。

## 2. 株式会社ジーワン

●対応者：	株式会社ジーワン 代表取締役	吉岡 祐弥様
	株式会社NTTドコモ	アグリガール 宮本 文恵様
	〃	システムエンジニア鈴木 寛昭様
	株式会社NTTドコモ CS 栃木支店	田中 敏弘様
	〃	アグリガール 竹内 香南様
	株式会社NTTドコモ CS 中国島根支店	上土井 誠様
	ウォーターセル株式会社	蛭子 拓夫様
同行者：	JAしまね やすぎ地区本部	TAC 矢田 康二様

●場 所：株式会社ジーワン さくら市圃場（栃木県さくら市早乙女）

●概 要：

### 「農業 ICT 実践圃場の現地視察」

昨日株式会社NTTドコモ本社で説明いただいた農業ICTを使って農業を実践しておられる農業生産法人 株式会社ジーワン様を訪問し、最初に社長の吉岡様より説明を受け、意見交換をさせていただきました。株式会社ジーワン様は平成21年に設立され、現在作業従事者は10名。本社は栃木県益子町にあり、圃場は益子町、茂木町、さくら市（合計24ha）にそれぞれあり、キャベツ、トマト、かぼちゃ、にらなどを生産しておられ、農産物物流会社や食品加工業者などに出荷しておられる法人です。

昨年「アグリノート」を使っておられ、複数の農場の栽培状況をこのアプリで一括管理し、生産性を大幅に向上されたということです。

説明の後は、トマトを栽培しておられるハウスなどを見学させていただきました。

### 〈考察〉

○まずこのアプリ「アグリノート」を導入された決め手は、ITが苦手な社員さんでも簡単操作で使いやすかったこと。そして効果としては、事務処理が楽になったこと、そして間違いが少なくなったとのことでした。また値段が安いことも魅力のようでした。これは導入してみる価値は十分あると感じました。

○また圃場が離れていることで今までは各圃場の栽培状況の共有が難しかったが、社員共有ができるようになったとのこと。社員への使い方の指導は、若い人が年配の方を指導する方法が進められたことなども参考になりました。



○ただ露地栽培・ハウス栽培を支援する「FieldServer-V」というシステムを見るのも楽しみにしていましたが、ハウス内のトマトが病気のため全滅したということで、機器は見れましたが、作物がなかったので詳細を確認することができなかったことはとても残念でした。

#### 4. 地方議員セミナー

- 講師： 保育研究所                      常務理事                      逆井 直紀様
- "    所長                                      村山 祐一様
- "    実方 伸子様
- "    若林 俊郎様
- 佛教大学教授                      杉山 隆一様

- 場 所：全理連ビル9階会議室  
(東京都渋谷区代々木)

●概 要：

セミナー「保育の拡充と地方議員の課題」  
保育の拡充は全国の自治体の大きな課題のひとつ。このセミナーを通じ、待機児童解消や保育士の処遇改善などについて話を聞きました。講義内容は以下の通りです。



講義1	保育にかかわる国・自治体行政の動向
講義2	保育士の処遇の現状と改善課題
講義3	待機児童はなぜ減らない？
講義4	公立幼稚園・保育所の統廃合と認定こども園化

〈考察〉

- 現在日本が抱えている保育の現状を改めて認識することができた。
- 保育士の処遇の悪さの根本原因などを詳しく説明いただき、とても参考になった。
- 人口減少地域と認定こども園化について説明を受けたが、都市部をモデルとして説明されたので、いまひとつピンと外れている感があった。

以上